



**1 八王子社跡**  
はちおうじやしろあと  
現在は楠木神社に合祀(ごうじ)され、「祇園祭」のお旅所(たひよ)となっています。



**2 西町だんじり小屋**  
西町のだんじり小屋は八王子社跡そばに、東町のだんじり小屋は楠木神社の隣にあります。どちらも「祇園祭」のだんじりを収納しています。西町だんじり小屋は瓦葺屋根が特徴的です。



**3 梅屋**  
明治の初めまで「車屋」「わたや」「たるや」などの旅館がありました。「梅屋」は築後100年を経過している商家の館で、現在も旅館をしています。



**4 つばや**  
老舗の和菓子屋さん。祇園祭のせえく餅が有名です。



**5 東町だんじり小屋**



**6 楠木神社**  
夏の「祇園祭」が有名です。境内には芭蕉の句碑も建てられています。



**7 鳳凰寺跡**  
今から1200年以上も昔の白鳳時代に、壬申の乱(678年)で亡くなった我が子大友皇子のめい備を祈り、その母である大山田村地方の豪族の屋敷がここに建立しました。戦田徳長による伊賀攻めに火がけされましたが、現在は薬師寺が建てられており、境内には立派な礎石(もせせき)が残っています。



**8 鳴塚**  
天皇の御遺体(ごしゅうい)があるたびに塚が塌ると言い伝えられ、それからの地名の由来になっています。



**9 進堂古墳**  
6世紀後半に造られた古墳。被葬者の家系は郡内でも一二を争う有力な人物であったと言われています。



**10 地蔵立像**  
しそりるぞろ



**1 三体地蔵**  
さんたいしそり



**2 六地蔵**  
ろくじそり



**5 本尊と六地蔵**  
ほんぞん ろくじそり



**8 文殊菩薩**  
もんじゅぼさつ



**11 持錫地蔵**  
しそりるぞろ



**3 小石仏一尊**  
しょうせきぶついつしゆ



**4 小石仏三基**  
しょうせきぶつさんき  
【室町時代末期】仏像の上に「ア」、「ウン」、「ハニ」の種子(しゆじ)が彫られています。  
※種子一文字によって仏を象徴させたもの。



**6 本尊と六地蔵**  
ほんぞん ろくじそり



**7 弥勒菩薩**  
にきくぼさつ  
【平安時代以降】蓮台に東の五輪塔を持っています。



**7 釈迦如来立像**  
しやくかにょらいりやうぞろ



**9 普賢菩薩**  
ほんげんぼさつ  
【大正時代】



**8 文殊菩薩**  
もんじゅぼさつ  
【大正時代】右手に宝剣、左手に蓮の花を持っています。知照を授けてくれる地蔵と書かれ、おでこが広いところが特徴です。



**9 普賢菩薩**  
ほんげんぼさつ  
像の下に「普賢菩薩」と彫られています。



**11 持錫地蔵**  
しそりるぞろ  
【大正時代】大阪の西崎平蔵が寄進。



**12 目明かし地蔵**  
めあかししそり  
【江戸末～明治初】目の病気を治してくれる地蔵と書われています。